



Title	令和元年度 高大連携物理・化学教育セミナー報告書 はじめに
Author(s)	関山, 明; 佐藤, 尚弘; 杉山, 清寛 他
Citation	高大連携物理・化学教育セミナー報告書. 2019, 31
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/77166">https://hdl.handle.net/11094/77166</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## はじめに

大阪大学大学院基礎工学研究科 関山 明  
大阪大学大学院理学研究科 佐藤尚弘  
大阪大学全学教育推進機構 杉山清寛  
大阪大学大学院理学研究科 小田原厚子  
元大阪大学全学教育推進機構 川内 正

大阪大学基礎工学研究科、理学研究科が年一度共同で開催している高大連携物理・化学教育セミナーでは、高校と大学の先生方が参加し、理科教育の問題点や教育方法の改善、大学入試に関する課題、および高校と大学の教育の接続の問題などを議論しています。このセミナーのルーツは大阪大学基礎工学研究科による「理科と情報数理の教育セミナー」で、高校と大学の教員のコミュニケーションの場としての重要性から、理学研究科がこれに加わりました。その後、この教育セミナーは、高大連携物理教育セミナーと化学教育セミナーとに分かれて開催されるようになり、物理教育セミナーの方は大学教育実践センター主催で行われていた「高大連携物理セミナー」と合体して発展してきました。そして一昨年より、両教育セミナーは再び合体し、「高大連携物理・化学教育セミナー」として、今年度その第3回目を開催しました。昨今、高校と大学が協力して解決すべき課題が山積しておりますので、本セミナーのように、高校と大学の先生方が集まって議論し研究することは、重要な意義があります。

今回の高大連携物理・化学教育セミナーでは、本学教授による講義、および「高大連携企画セミナー」を半日で行いました。講義については「放射能の基礎とニホニウムの発見」という高校では物理と思われがちな内容ですが、これを専門とする大阪大学理学研究科化学専攻の先生にお話いただきました。高大連携企画セミナーについては高校生の探究活動について情報交換を行い、主として探究力をのばすためにどのように取り組んでいくべきかについて、今後の大学入試との関連性も含めて議論しました。高校でのSSHの現状を高校の先生からご講演いただくとともに、大阪大学で2015年度より実施している高校生対象のSEEDSプログラムでの経験を大学教員2名から講演いただきました。その後に、参加者全員で意見交換を行いました。

このセミナーの成功には、熱心な高校の先生方の参加に負うところが大きく、発表してくださった先生方は言うに及ばず、遠路参加していただいた先生方に感謝いたします。また、セミナー開催を支えていただいた基礎工学研究科・理学研究科の事務の方々にお礼を申し上げます。